

ふるさと牧場

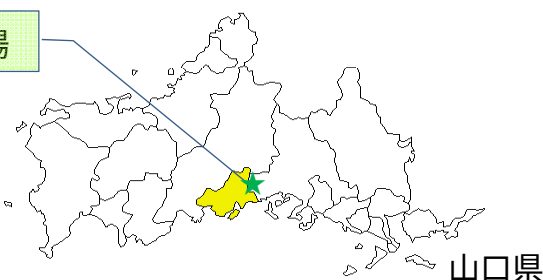
～ 『牛』がくれた時間と空間で食育や環境教育 ～

山口県防府市久兼地区には、里山と棚田が続く典型的な日本の山村の風景が残っています。平成3年から、夫婦で山の手入れを始め、その里山と棚田に牛を放しました。牛が棚田の草を食べ、下草を刈ることで里山は守られ、糞尿は肥料となり、人が行う農林作業への労働力を最小限に抑えることに成功。牛が山の手入れをすることでこぶしの花が咲き乱れ、その牛がくれた時間と空間で食育や環境教育としての様々なイベントや研究・教育・研修が開催され、支援の輪も広がっていきました。また、支援団体のひとつである「こぶしの里牧場交遊会」は、平成22年に畜産大賞地域畜産振興部門特別賞を受賞しています。

取組主体

- 名称 ふるさと牧場
- 所在地 山口県防府市久兼410
- 代表者 山本 喜行
- 電話 0835-36-0337
- 支援団体 こぶしの里牧場交遊会（「こぶしの会」という。）
- 連絡先 こぶしの会事務局
E-mail mshim@d2.dion.ne.jp
- HPアドレス <http://www.d2.dion.ne.jp/~mshim/>

ふるさと牧場



山口県

活動の動機・目的

『ふるさとを守る』という使命感で就農し、牧場名も「ふるさと牧場」に。ここでの遊びや体験を通して、自然や農林業への理解を深めてもらい、将来このふるさとを継承したいという方が出てきてくれることを願っています。

活動の紹介

中・高・大学生を対象に牧場での宿泊体験（少人数）をしたり、支援団体の「こぶしの会」や「田んぼの学校」等が交流施設や牧場を利用し、教育や研修等の場として様々な体験活動を行っています。

棚田の草取り・ジャガイモ掘りの様子（平成24年7月21日（土））

ふるさと牧場で、「田んぼの学校 佐波川」の主催により、親子で田んぼの草取りを行いました。その後、体験施設「歩知庵」で休憩や食事をとり、ジャガイモ掘りも行いました。牛とは、いつでもふれあうことができます。



案内表示板



体験交流会説明

体験施設「歩知庵」



牛と遊ぶ



ジャガイモの収穫



田の草取り



たのしみなお昼ご飯です

牛に給餌

ふるさと牧場

取組内容

★ 地域関係者との連携

- ・牛の林間放牧を導入したことで、山口大学農学部の研究グループが牛の行動や山林調査を開始。
- ・平成12年10月に支援団体「こぶしの会」が立ち上げられ、体験施設「歩知庵」の建築やこぶしの会花見会等を企画し、交流が開始。翌年、市内の小学生が初めて牛に触れ、林内での間伐体験を行った。
- ・地域の方の理解やつながりも大切と考え、地域自治会が実施する道沿いの草刈りをこぶしの会と協同で実施。

★ 体験活動の運営

- ・後継者育成等を主体とした農林牧場体験、就業体験は、牧場で夫婦が対応。宿泊体験も可能。(大人数の受け入れは困難)
- ・植林地10ヘクタールや水田等の管理は、夫婦だけでなく、牛が労働力として加わることで時間的余裕ができ、現在の林業、水稻、和牛繁殖の複合経営が成り立っている。
- ・現在、農林業・牧場の後継者が育たないことに危機感を持っている。これからは、より本格的な農林業等の体験を行い、後継者と食育実践者の育成にポイントを置いた活動をするを考えている。



参加者へミーティング

★ 参加費の設定

- ・後継者育成に繋がる体験・宿泊料は無料。
- ・こぶしの会等の支援団体が主催する体験活動は、弁当持参で参加費が必要。参加費は低く設定しているが、みんなが使う道の草刈り等の労働力を提供していただくこともある。



★ 参加者の集め方

こぶしの会事務局がホームページで参加者を募集。最近では、口コミで来られる方が多数。

将来の夢(目標)

本物の労働体験を提供したり、農業塾等を開催し、先人の智恵や技術を伝えることで後継者の育成やふるさとの環境を守っていきたい。いずれは、市民にも牧場を開放したり、企業と連携した取り組みにも興味がある。

ふるさと牧場代表：山本 喜行・和子夫妻



みんなの声

(参加者)

- ・子どもが生きていく上で「農業」という選択肢もあるのではないかと考えています。今のうちに「農業」にも興味を持たせてやりたいと思い参加しました。勉強さえできればという考えでは、これから就職があるとは思えません。
- ・また、学校でも、体験活動をもっとカリキュラムの中に入れてほしいと思います。勉強だけでなく、人との関わり(コミュニケーション能力を養うこと)が必要だと感じています。(30代女性(防府市)、小2男)
- ・子どもたちは、自然から自分を守ることを学ぶことができると感じます。例えば、茅で手を切る体験だって必要です。会費(500円)を払って草取りしてもそれ以上の価値があると感じています。(女性(防府市))



(スタッフ)

- ・棚田や里山でのお米づくりや牛さんたちへのえさやり、自然体験を通して、この子たちの中から将来の中山間地域を担ってくれる次の世代が生まれてくるのを待っています。('田んぼの学校佐波川'代表)
- ・これまでは、交流ハウスづくりと体験イベント開催が中心でした。今後は、ここでの農畜林技術習得を目指します。共に学びたい方を募集します。('こぶしの会'事務局)